

2024年6月12日

## 新規受託項目のお知らせ

### < 研究検査 >

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

#### 【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
14028 (従来システム 6393)	STDマルチ定性/PCR

本検査は、リアルタイム PCR 法を用いてマイコプラズマ・ジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*)、マイコプラズマ・ホミニス (*Mycoplasma hominis*)、ウレアプラズマ・ウレアリチカム (*Ureaplasma urealyticum*)、ウレアプラズマ・パルバム (*Ureaplasma parvum*)、HSV-1 (1 型) および HSV-2 (2 型) の 6 種類の核酸を同時に検出します。

非クラミジア性非淋菌性の性感染症 (Sexually Transmitted Diseases : STD) の原因であるマイコプラズマ (ジェニタリウム、ホミニス) およびウレアプラズマ (ウレアリチカム、パルバム) は、クラミジアや淋菌と同様、性器や咽頭に感染し症状を発症すると報告されています。

潜伏期間が 1~5 週間と長く、感染していても自覚症状がない場合も多いため、感染していることに気づきにくいという特徴があります。そのため、治療をしないことにより男性では尿道炎、精巣上体炎、前立腺炎、女性では卵管炎、腹膜炎、不妊症、早産や流産になる可能性があると言われていています。また近年では、マイコプラズマにおける薬剤耐性化も問題となっています。

性器ヘルペスウイルス感染症の原因ウイルスである単純ヘルペスウイルス (HSV) は、疾患の重症度、後遺症および再発率が異なるため、HSV-1 および HSV-2 感染症の区別が必要不可欠です。

【開始時期】 2024 年 6 月 24 日 (月) ご依頼分より

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

本社 〒710-0834 倉敷市笹沖 468 番地の 5

インフォメーション TEL(086)427-2323

ホームページ <http://www.oml-inc.jp>

**【受託要領】**

コードNo. (括弧内は 従来システムコード)	〈親〉 14028 (6393) STDマルチ定性PCR	
	〈子〉 23237 (6394) HSV-1 〈子〉 23238 (6395) HSV-2 〈子〉 23239 (6396) Mジェニタリウム 〈子〉 23240 (6397) Uパルバム 〈子〉 23241 (6398) Uウレアリチカム 〈子〉 23242 (6399) Mホミニス	
検体量	膣擦過物 または 子宮頸部擦過物	尿(初尿) 5mL
採取容器	37a	37b
保存方法	室温(開封厳禁)	
検査方法	リアルタイムPCR法	
基準範囲	(－)	
単位	なし	
所要日数	4～7日	
報告形式	(－)、(＋)、判定不能	
検査実施料/判断料	未収載	
備考	単独検体にてご提出ください。	

《検査方法の参考文献》

Jensen JS. et al.: J. Clin. Microbiol. 42, 683-692. 2004.

Cao X. et al.: Diagn. Microbiol. Infect. Dis. 57, 373-378, 2007.

Férandon C. et al.: J. Clin. Microbiol. 17, 155-159, 2011.

以上